

I 学校教育の基底

1 教育基本法第1条(教育の目的)

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

2 小学校学習指導要領(平成29年3月)の令和2年度全面実施

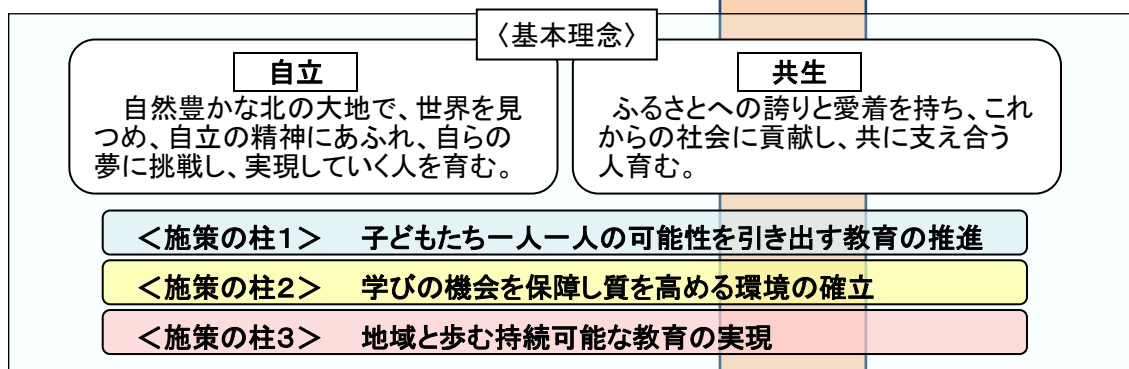
「社会に開かれた教育課程」の実現 よりよい社会を創り出していく児童

～ 一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする ～ 【前文】

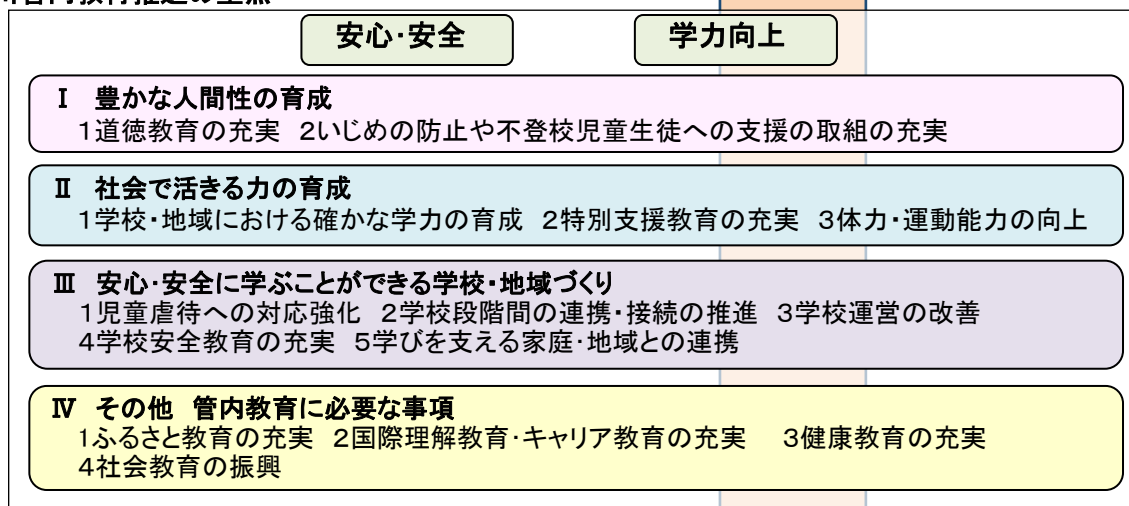
■中教審答申(令和3年1月26日)

「令和の日本型学校教育」の構築「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての児童たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

3 北海道教育推進計画(2023年～2027年)～素案より



4 上川管内教育推進の重点



5 当麻町第3次学校教育基本計画(2023年～2028年)

〈基本理念〉 義務教育終了時の姿 「ふるさとに誇りをもち、仲間とともに未来を切り拓く子ども」

〈目指す子ども像〉

「知識・技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう人間性等の涵養」

- **学び**の基本を身につけた子ども
- 人と**つながり**、自らの学びをつくりだす子ども
- 自ら**未来**に羽ばたこうとする子ども

II 学校経営の基本構想

1 学校経営の基調

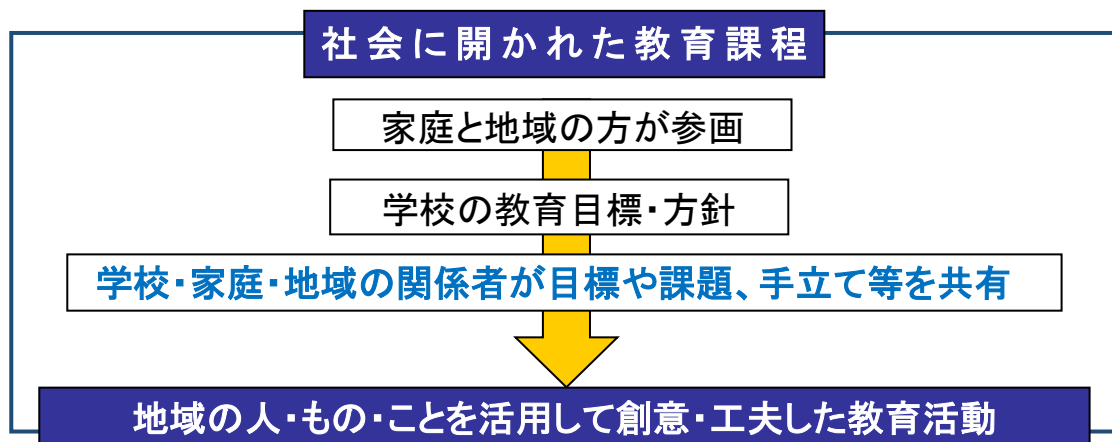
(1) 公教育としての責務

学習指導要領の理念「**社会に開かれた教育課程**」のもと、児童たちに資質・能力を育んでいくためには、家庭・地域と連携・協働、分担しながら、教育課程を実施していくことが求められている。

本校では、諸法令と、それらに基づく北海道教育推進計画(2023年～2027年)・令和5年度上川管内教育の推進に向けて・当麻町第3次学校教育基本計画(本年度施行)に示された教育を実現していく。

(2) 家庭・地域と連携・協働した学校づくり～児童にとっての社会の構成要素としての学校

社会総掛かりでの教育の実現を図る上で、学校は、地域社会の中でその役割を果たし、地域とともに発展していくことが重要である。家庭や地域の人々と目指す児童の姿を共有し、家庭・地域と連携・協働して子どもの健やかな成長と人格形成に、学校としての役割を自認し学校教育推進に努める。



2 本校の成果及び今後に向けて 後期評価より □:成果 ■:今後に向け

「当小っ子の力」を身に付ける子 2.8ポイント □合い言葉を覚え意識する。 ■力が必要な意味がわかり、持続的に行動に活かす。
人と交流し、思いを共有できる子 2.9ポイント □相手と仲良く協力する。 ■自他を認め大切にす・自主的なあいさつと言葉遣い
未来を語り、行動を起こす子 2.8ポイント □目標やめあてをもち、粘り強く取り組む ■課題解決への意欲と主体的な取り組み

令和5年度へ向けて 教育目標

- 「当小っ子の力」を身に付ける子
確かな学力を育成する個の学びと協働的な学びがある授業と指導
- 人と交流し、思いを共有できる子
自他を認め尊重する気持ちを醸成するカリキュラム・マネジメント
- 未来を語り、行動を起こす子
達成感から自己肯定感を高める学びの場の設定

Ⅲ 経営方針

基本理念

2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿では、全ての児童たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現のための改革の方向性と必要性が示されている。

学校教育においては、**義務教育9年間を見通し、児童が社会の中で自立して生きていくために必要な「生きる力」を身に付けさせる**こと、つまり、児童一人一人が**自立した学習者として社会を創造**することができる資質・能力の育成が必要とされる。児童一人一人の自己実現を図るために、基礎・基本の確実な定着を図り、活用する力を身に付けさせ、自ら学ぶ態度の育成を目指していく。そのために、

- (1) 学校教育目標具現化に向け、**児童を学びの主体者として**創造的な学校教育の充実を図る。
- (2) 児童が**達成感を得、自己肯定感**を高める学級づくり、人間関係づくりを進める。
- (3) **社会の変化に応じ**自己研鑽に努め、**組織的に力量を高め合う、学び続ける職員集団**を創造する。

全職員が教育目標へ向かいそれぞれの個性・適性を発揮しながら一丸となり、**前例にとらわれず新しい視点で教育活動を創造し**、実践を通して、児童、職員にとって心が動く学校を目指していきたい。

Ⅳ 教育目標とめざす姿

義務教育終了時のめざす子どもの姿

ふるさとに誇りをもち、仲間とともに未来を切り拓く子ども

【校訓】

夢と愛をもち 未来にはばたく 子ども
やさしく かしこく たくましく

【教育目標】 令和4年～10年

- 1 「**当小**っ子の力」を身につける子
- 2 **人**と交流し、思いを共有できる子
- 3 **未**来を語り、行動を起こす子

【めざす児童像】

- 1 **学びの基本**を身につけた子ども
学びに向かう力や考える習慣、確かな学力（知識及び技能、思考力、判断力、表現力、人間性）を身につけた子ども
生命の尊さや健康、生活の安全を大切に考える素地や姿勢を身につけた子ども
- 2 **人とつながり**、自らの学びをつくりだす子ども
自他の違いに気付き、他者を思う気持ちや協働性を身につけた子ども
- 3 自ら**未来**に羽ばたこうとする子ども
自己有用感、何事にも粘り強く取り組む素地や姿勢を身につけた子ども

【めざす学校像】「かよいたい」「かよわせたい」「はたらきたい」

- 児童にとって ○子どもが安心して、学ぶ価値を実感できる学校
- 家庭・地域にとって ○家庭・地域と協働し、子どもの豊かな成長を育む学校
- 職員にとって ○教職員が自ら創造力を発揮し、誇りをもって働く学校

【めざす教師像】

- すべての子どもを愛し、学びを支援する教師
- 共通目標に向かって、協働し高め合う教師
- 地域を理解し、15歳の姿を家庭と共有して子どもを育む教師

V 今年度の重点

1 重点目標と子ども像

『 自分を育て みんなで学ぶ 』
～ みんなで使おう「当小っ子の力」～

自分を育て みんなで学ぶ = 自立した学びの姿

■課題発見解決能力

- 課題を見付ける ○判断し決定する ○計画を立てる ○情報収集・活用
- 協力・協働する ○解決したことを表現する ○わからない時に聞く
- 活動を振り返り次に活かす ○粘り強く取り組む ○意欲が継続する

自主的 → 主体的



1 学びの基本を身につけた子ども

- ・基礎基本を確実に習得し、活用することができる。
- ・自分の学習状況を把握し、主体的に自分に合った学習をすることができる。
- ・目的や条件に適した表現をすることができる。
- ・進んで運動に取り組み、心身ともに健康で、はつらつと活動できる。
- ・ルールを守り、活動にふさわしい行動ができる。
- ・命と健康の大切さを知り、適した習慣を身に付け、安全に生活することができる。

2 人とつながり、自らの学びをつくりだす子ども

- ・自他の違いを認め、理解することができる。
- ・相手の立場や気持ちを共感的に理解し、仲良く協力できる。
- ・進んであいさつができ、場や相手に応じた言葉遣いで話すことができる。

3 自ら未来に羽ばたこうとする子ども

- ・目標やめあてをもち、粘り強く取り組むことができる。
- ・課題解決へ意欲をもち、主体的に取り組むことができる。
- ・自分の成長を認識し、自分のよさを認めることができる。

キーワードは

主体 と 多様
自分 他者

2 経営の重点と方策

経営の重点 『 児童が学びの主体者となる教育 』 ～小中一貫教育へ向けて～
【 新型コロナの影響を踏まえた学校教育活動の制限緩和 】

1 学びの基本を身につけた子どもの育成

- (1) あいさつや規則正しい生活等の基本的な生活習慣の育成
 - ①小小・小中が連携した学習習慣・生活習慣の定着
 - ②家庭・地域と連携したあいさつや校外生活の態度・習慣への指導
 - ③家庭・地域と連携した望ましい読書習慣・メディア利用習慣への指導
- (2) 安全・防災、健康・病気予防・体力等の知識・技能の習得
 - ①子ども自身の安全意識と対処法を高める指導
 - ②感染症拡大防止と教育活動のバランスを考慮した学校教育の創造
 - ③身体を動かす意欲、運動技能・体力の向上を図る授業と指導の充実
- (3) 基礎的・基本的な学習内容や学び方の育成
 - ①分離型小中一貫教育の教育課程の編成及び、系統性ある学習規律・指導の実施
 - ②「もかみじとまれふ」：問題解決的な学習過程の定着
 - ③1人1台端末など ICT 機器の効果的な活用と日常化

2 人とつながり、自ら学びをつくりだす子どもの育成

- (1) 問題発見・解決能力の育成
 - ①学習意欲を高め、主体的に取り組むことができる単元構成・教材の工夫
 - ②自ら学習課題・方法・解決計画等を自己決定して学び進める授業の指導改善
 - ③目的に応じて情報の収集・分析・活用をする能力の育成を図る指導
- (2) 目的に応じて表現する能力の育成
 - ①明確なねらいのある対話場面を保障した授業改善
 - ②対話・交流の時間確保と質の向上を図る ICT 機器の活用
- (3) 多様な他者と協働することができる技能の育成
 - ①ひとり一人の特性や教育的ニーズに応じた学びの充実
 - ②自他の個性や価値観の違いに気付き、互いに認め尊重する教育活動の充実
 - ③地域人材のとの対話や協働による教育活動の創造
- (4) 教科横断的な考え方と学び方の育成
 - ①小中一貫教育における、小中の系統ある総合的な学習の時間の創造と実施
 - ②STEM 教育を意識した教育活動の実施
 - ③食育・木育・花育のねらいの明確化と教育活動の工夫

3 自ら未来へ羽ばたこうとする子どもの育成

- (1) 社会の変化に主体的に係わり、よりよい社会を創ろうとする態度の育成
 - ①主体性の伸張を図る教科・領域・道徳・特別活動などの工夫と生徒指導の充実
 - ②小中連携教育による系統的なキャリア教育の充実
 - ③A L Tを活用した外国語教育・国際理解教育の充実
- (2) 地域の未来と持続可能な社会とのつながりを意識した態度の育成
 - ①幼保小中での交流事業の推進継続
 - ②生涯学習フェスティバルなど地域事業への教育活動からの協力
 - ③S D G s（持続可能な開発目標）、E S D（持続可能な開発のための教育）の具体的な実践
- (3) 当麻町の理解と郷土愛の育成
 - ①食育・木育・花育の活動など、地域の施設・人材を活用した体験的な学習活動の推進
 - ②当麻町の未来をテーマとした教育活動成果の発信

4 全ての子どもに質の高い学びを提供する環境の整備

- (1) 教育機会の確保と個に応じた教育活動の充実
 - ①いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針など法令に基づく組織的対応の徹底
 - ②不登校・いじめ・虐待・ヤングケアラー等の未然防止と対応のための校内体制の整備
 - ③やむを得ず欠席した児童へのI C Tを活用した学習機会の保障
 - ④多目的教育施設「かがやき」、S S W、S Cを活用したカウンセリング・教育相談の実施
 - ⑤全ての子どもの学びを保障する支援員の配置
- (2) 体験活動の充実と読書・I C T等の環境整備
 - ①社会教育と連携・継続した当麻ならではの体験活動の充実
 - ②「子どもの読書活動推進計画」による読書活動の推進と「誕生日の本」の効果的活動
 - ③学校、家庭で安心・安全に活用できるI C Tの使用環境の整備
- (3) 「食育・木育・花育」活動の充実
 - ①小中一貫教育を視点とした「食育・木育・花育」の教育課程の編成
 - ②産官学の連携・協働による多様な教育活動の創造と実践
- (4) 教職員の資質・能力の向上と学校における働き方改革の推進
 - ①向上を図る資質・能力を視点とした業務内容の見直しと創造
 - ②ワークライフバランスを重視した業務推進

5 地域との共創と未来への持続の実現

- (1) ねらいを共有した地域との連携
 - ①町内施設や町民ネットワークとの連携した活動の推進
 - ②学校運営協議会、学校支援地域本部と目標や評価を共有した教育活動の実施
- (2) 幼保小の連携推進
 - ①幼保小中の交流や乗り入れ授業・体験授業の実施
 - ②小中特別支援学級全体での社会科見学や生活単元学習の実施
- (3) 地域での活動と生涯学習への接続
 - ①地域への活動に自発的に参加する機会の設定と意識の醸成

3 指導の重点

(1) 学級指導

- 教育目標や重点目標の具現化を図る指導
- 帰属感や自己有用感を高める指導
- 支持的風土の醸成に向けた学級づくり
- 主体性・社会性・道徳性の伸長や生活習慣の定着を図る保護者と協働した指導

(2) 学習指導

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した授業
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導
- 学ぶ意欲を高め持続させる指導
- 学習規律と家庭(自主)学習の習慣化を図る指導

(3) ICTの活用

- 操作スキルを習得する指導
- プログラミング的思考を育成する授業への活用
- 教科のねらいの深化、協働的な学習への活用
- 児童の主体的な学びの時間を保障するための活用

(4) 道徳教育

- 自他を尊重し豊かな心や規範意識及び道徳的实践力を育てる授業
- 他学年との活動等の良さを活かした指導及び教科横断的指導

(5) 特別活動

- 主体性や体験性を高め、望ましい人間関係を育む指導や体験的学習
- SDGs、ESDの知識・理解を深める学習

(6) 総合的な学習の時間

- 主体性や体験性を高め、自己の考えや視野、可能性を広げる指導
- 教科横断的指導及び「木育・花育」の体験的学習

(7) 外国語・外国語活動

- 外国語への興味・関心を高め、外国語に慣れ親しむ授業
- コミュニケーションを楽しむ指導や学習
- 国際理解教育としての指導

(8) 生徒指導

- 児童相互の好ましい人間関係による望ましい集団生活や自治的風土を醸成する指導
- きまりやルール遵守等社会性の素地を培う「積極的な生徒指導」
- 「かがやき」、SSW、SCを活用したカウンセリング・教育相談の効果的な活用

(9) キャリア教育

- 発達段階を考慮し、夢や希望を持たせ、膨らませる指導や体験的学習
- スケジュール管理等タイムマネジメントに関わる指導

(10) 体力・健康・安全指導

- 体力向上や食育、自分事として健康を捉え・考えさせる指導
- 「自分の身は自分で守る」意識を高める安全指導や体験的学習
- 感染症予防に関する正しい知識と適した行動様式を身に付ける指導の継続

(11) 特別支援教育

- 「目指す子どもの姿」を共有し、学校と保護者が協働した個の特性に応じた指導
- 「自立活動」の計画的・意図的な指導